

-----  
[ 成果情報名 ] トルコギキョウの母系統の育成

[ 要約 ] トルコギキョウの雑種第 1 代 ( F<sub>1</sub> ) 品種の育成のための優良母系統として、花色や花の形質の固定した 24 系統を作出した。

[ キーワード ] トルコギキョウ、品種育成

[ 担当部署 ] 花き部・花き育種チーム、( 田川農業協同組合 )

[ 連絡先 ] 092-922-4958

[ 対象作目 ] 花き・花木 [ 専門項目 ] 育種 [ 成果分類 ] 品種育成  
-----

[ 背景・ねらい ]

本県のトルコギキョウの産出額は約 8 億円 ( 平成 17 年度 ) で、最近の 5 年間で約 3 億円増加し、順調な生産拡大が進みつつある。産出額の増加は、主に種子冷蔵と冷房育苗技術の開発 ( 平成 10、12 年度成果 ) による切り花品質の向上等に負っているが、今後、周年生産による規模拡大を進めるためには、特に生産の少ない冬春出しに適する品種や多様な消費需要に応える新たな品種の育成が求められている。そこで、季節の流行に対応した花色の創出および花形・草姿が優れる雑種第 1 代 ( F<sub>1</sub> ) 品種を育成するための優良母系統を作出する。

( 要望機関名 : 生産流通課、飯塚農林、飯塚・田川普及センター ( H16 )、南筑後普及センター ( H18 ) )

[ 成果の内容・特徴 ]

- 1 . 平成 15 ~ 17 年に約 100 品種・系統を収集し自殖を行った。得られた実生を県内産地の展示ほ場で栽培し、生産者や農協、普及センター等県関係機関で有望系統を選抜した。選抜した系統について、平成 16 ~ 18 年度に、産地および農総試ほ場で、選抜と自殖を重ね、花色や形質の固定を図った。平成 19 年 7 月の開花時に形質の固定を確認し、母系統として優良な 24 系統を選抜した ( 表 1 )。
- 2 . 選抜した母系統は、花色別では紫系 8 系統、赤桃系 9 系統、黄系 2 系統、緑系 5 系統であり、単色・複色では、単色系 18 系統、覆輪縞系 6 系統で、八重・一重の区別では八重 6 系統、一重 18 系統である ( 表 1 )。
- 3 . 紫系統は、葬祭等に使用できる覆輪の系統や市販品種の少ない濃紫あるいは淡いらべンダー色の系統等を選抜した。赤・桃系統は、希少価値の高い濃赤色系統や草姿、花形に優れた桃色系統等を選抜した。黄色系統は、花形の優れた大輪八重系統と中輪で花弁に細かいフリンジのある系統を選抜した。緑系統は、クロロフィルによる緑花色のものがあ、黒や茶色等新たな花色の作出が期待できる。

[ 成果の活用面・留意点 ]

- 1 . 母系統の交配により、オリジナル新品種 ( F<sub>1</sub> 品種 ) の育成を図る。
- 2 . 旧産炭地域振興事業の受託事業の成果であり、筑豊地域が優先的に利用する。

[ 具体的データ ]

表 1 母系統の花色および形質 (平成16~18年)

花色分類	花色	覆輪/単色	八重/一重	系統名	特徴
紫系	濃紫	単色	一重	FT20	濃色
	紫	単色	一重	FT10	剣弁中輪
	紫	覆輪	一重	FT11	カップ咲き
	紫	覆輪	一重	FT14	濃色、晩性
	紫	単色	八重	FT24	赤紫中輪
	淡紫	単色	八重	FT17	大輪多弁
	淡紫	単色	八重	FT23	中輪
	紫/緑	緋	一重	FT16	緋、伸長良
赤・桃系	赤	単色	一重	FT3	濃色バラ咲き
	赤	単色	一重	FT4	濃色
	赤	覆輪	一重	FT7	多輪
	赤	単色	一重	FT18	濃色
	桃	単色	八重	FT8	バラ咲き
	桃	単色	一重	FT12	剣弁小輪、伸長良
	桃黄	単色	一重	FT13	伸長良、多輪
	桃/緑	緋	一重	FT5	緋
	桃/黄	緋	一重	FT9	小輪
黄系	黄	単色	八重	FT1	大輪、中晩性
	黄	単色	一重	FT2	小フリンジ
緑系	緑	単色	一重	FT15	伸長良
	緑	単色	一重	FT19	大輪、伸長良
	緑	単色	一重	FT6	クロロフィル
	緑	単色	一重	FT21	クロロフィル
	緑	単色	八重	FT22	クロロフィル

[ その他 ]

研究課題名：トルコギキョウの新品種の育成

予算区分：経常・受託 (田川農業協同組合)

研究期間：平成16~18年度 (平成15~24年)

研究担当者：山田明日香、谷川孝弘、巢山拓郎、松野孝敏、國武利浩、黒柳直彦、坂井康弘